九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[111] 文學研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1463246

出版情報：文學研究. 111, 2014-03-18. Faculty of Humanities, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙　報

国語学国文学研究室

講義題目

平成二十五年度第一学期

文学部

国語学講義Ⅰ　日本語音韻史概論（1）　高山倫明
国語学演習Ⅰ　旋頭歌の研究
——言語史資料としての万葉歌——（1）　高山倫明
国語学講義Ⅲ　中世の文法（1）　青木博史
国語学演習Ⅲ　室町時代語研究（1）　青木博史
国文学講義Ⅰ　平安時代日記文学研究（1）　辛島正雄
国文学演習Ⅰ　『堤中納言物語』注釈（1）　辛島正雄
国文学講義Ⅲ　「もののあはれ」の文学史：江戸文学講義　川平敏文
国文学演習Ⅲ　『世間娘気質』訳注と自主研究（1）　川平敏文
国文学演習Ⅴ　日本近代文学研究（1）　比較社会文化研究院　松本常彦

人文科学府

日本語史特論Ⅲ　音訳漢字とプロソディ（1）　高山倫明
日本古代語史研究Ⅲ　訓点資料の研究（1）　高山倫明
博士演習　古代語の研究（1）　高山倫明
日本語学方法論特論Ⅲ　中世の文法（1）　青木博史
日本近代語史研究Ⅲ　近代語研究の諸問題（1）　青木博史
博士演習　日本語文法論研究（1）　青木博史
古代散文論特論Ⅲ　平安時代日記文学論（1）　辛島正雄
日本古代文学作品研究Ⅲ　日本中古・中世文学研究の方法（1）　辛島正雄
博士演習　日本中古・中世文学研究の諸問題（1）　辛島正雄
近世文芸史論特論Ⅲ　「もののあはれ」論の誕生と展開　川平敏文
日本近世文学作品研究Ⅲ　山岡元隣『宝蔵』訳注（1）　川平敏文
博士演習　江戸文学の諸問題（1）　川平敏文
日本近代文学作品研究Ⅲ　日本近代文学研究（1）　比較社会文化研究院　松本常彦
論文指導　各教員

平成二十五年度第二学期

文学部

国語学講義Ⅱ　日本語音韻史概論（2）　高山倫明
国語学演習Ⅱ　旋頭歌の研究
——言語史資料としての万葉歌——（2）　高山倫明
国語学講義Ⅳ　中世の文法（2）　青木博史
国語学演習Ⅳ　室町時代語研究（2）　青木博史
国語学講義Ⅴ　言語の対照研究　麗澤大学　井上優
国文学講義Ⅱ　平安時代日記文学研究（2）　辛島正雄
国文学演習Ⅱ　『堤中納言物語』注釈（2）　辛島正雄
国文学講義Ⅳ　江戸時代の小説史概論　川平敏文
国文学演習Ⅳ　『世間娘気質』訳注と自主研究（2）　川平敏文
国文学演習Ⅵ　日本近代文学研究（2）　比較社会文化研究院　松本常彦
国文学講義Ⅴ　和漢比較文学の方法　京都大学　大谷雅夫
国語学・国文学基礎演習　日本語学・日本文学研究入門　青木・川平

人文科学府

日本語史特論Ⅳ　音訳漢字とプロソディ（2）　高山倫明
日本古代語史研究Ⅳ　訓点資料の研究（2）　高山倫明
博士演習　古代語の研究（2）　高山倫明
日本語学方法論特論Ⅳ　中世の文法（2）　青木博史
日本近代語史研究Ⅳ　近代語研究の諸問題（2）　青木博史
博士演習　日本語文法論研究（2）　青木博史
日本語学特論Ⅰ　言語の対照研究　麗澤大学　井上優
古代散文論特論Ⅳ　平安時代日記文学論（2）　辛島正雄
日本古代文学作品研究Ⅳ　日本中古・中世文学研究の方法（2）　辛島正雄
博士演習　日本中古・中世文学研究の諸問題（2）　辛島正雄
近世文芸史論特論Ⅳ　江戸小説史研究の現在　川平敏文
日本近世文学作品研究Ⅳ　山岡元隣『宝蔵』訳注（2）　川平敏文
博士演習　江戸文学の諸問題（2）　川平敏文
日本近代文学作品研究Ⅳ　日本近代文学研究（2）　比較社会文化研究院　松本常彦
日本文学特論Ⅰ　和漢比較文学の方法　京都大学　大谷雅夫
論文指導　各教員

学会・研究室行事

○平成二十五年度九州大学国語国文学会

（二〇一三年六月八日（土）　於九州大学附属図書館視聴覚ホール）

（研究発表）

都の錦と噺本――『軽口はなし』の一考察――　九州大学大学院生　平山聖悟

アクセント変化と長母音――日朝対照の視点から――　九州大学大学院生　金娥璘

『源氏物語』葵の巻における雨の表現について　九州大学大学院生　二宮愛理

『伊勢物語』初段挿絵考　東京大学　田村隆

現代語に於ける並列助詞「たり」の一用法――非類的用法をめぐって――　岡山大学　京健治

鹿児島方言の「イテ」と「イタテ」　国立国語研究所　木部暢子

（講演）

西鶴戯作者説再考　九州大学名誉教授　中野三敏

○平成二十五年度西日本国語国文学会

（二〇一三年九月一四日（土）・一五日（日）於熊本大学）

（シンポジウム）

徒然草の再発見　九州大学　川平敏文

（研究発表）

『在明の別れ』の左大臣にみえる右大将の影　九州大学大学院生　小松明日佳

歌合判詞における「俗に近し」について――今様の歌詞を詠み込んだ歌を中心に――　福岡大学非常勤講師　大木桃子

上田秋成「貧福論」考――通俗書物との関連性――　九州大学大学院生　吉田宰

（関係者のみ）

九州産業大学　辛島美絵

佐賀大学　白石良夫

研究室刊行物

○語文研究　第一一四号（二〇一二年一二月発行）

『御津の浜松』における首尾照応をめぐる覚書――「とこの浦」と「にほの海」と――　辛島正雄

北村季吟『和漢朗詠集註』考――その注釈態度と出版意義――　村上義明

鹿児島方言の「動詞連用形＋オル」　久保薗愛

○語文研究　第一一五号（二〇一三年六月発行）

『落窪物語』における孝養譚の位相
——北の方をめぐる最後の記述を起点として——　梁　丹

『大和物語』一四六段異文考
——「あさみどり」と「ふかみどり」と——　小松明日佳

飛鳥井雅豊『和歌樵談』と歌学継承　日高愛子

歌川豊国筆「揃物市川団十郎舞台似顔絵」について　工藤いずみ

否定過去表現の展開小考
——九州方言「ンジャッタ」「ンカッタ」をめぐって——　京健治

○文献探究　第五一号（二〇一三年三月発行）

《口絵・解説》『瑜伽師地論』巻四十八　蛭沼芽衣

沈思の人、迫野虔徳先生　高山倫明

『石清水物語』第三系統諸伝本に関する研究（一）　宮崎裕子

九州大学附属図書館蔵『おちくほ』解題と翻刻（一）　梁　丹

現代語に於ける並列助詞「たり」の一用法
——仮想的事態提示形式「たりして」——　京健治

福岡方言のとりたて詞「ヤラ」「ゲナ」の成立をめぐって　松尾弘徳

ロシア資料の動詞の活用　久保薗愛

［紹介］迫野虔徳著『方言史と日本語史』　青木博史

中国文学研究室

講義題目

＊印は他講座教員との共同オムニバス授業

平成二十五年度前学期

全学教育科目・文学部共通科目

コアセミナー　竹村教授＊

古典の世界「東洋のこころ：東洋医学の祖『史記』扁鵲倉公列伝講読」　静永准教授

古典語（漢文）Ⅰ　（帝京大学福岡）中村昌彦教授

中国語（中級）Ⅰ・中国語初歩Ⅰ　（九州産業大学）呉紅華教授

中国語会話Ⅰ・中国語作文Ⅰ　林教師

中国語科指導法Ⅱ　（佐賀大学）中尾友香梨准教授

文学部

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授

講義　史記扁鵲倉公列伝講読　静永准教授

演習　『東周列国志』演習　竹村教授

演習　千載佳句所収唐詩訳注（19）　静永准教授

演習　宋詞選読　林　教師
演習　中国文学研究法　林教師・静永准教授
演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）西　山　准教授

人文科学府

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹　村　教　授
演習・博士演習　王昭君文学史研究　竹　村　教　授
演習　長恨歌抄訓読　静　永　准教授
演習・博士演習　書舶庸譚訓読Ⅰ　静　永　准教授
演習　中国文学研究法　林教師・静永准教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　竹　村　教　授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静　永　准教授

平成二十五年度後学期

全学教育科目・文学部共通科目

文学基礎　竹*　村　教　授
人文学Ⅰ「東アジア世界の交流と変容」　竹*　村　教　授
人文学Ⅱ「生と死の探求」　静*　永　准教授
古典語（漢文）Ⅱ　（帝京大学福岡）中村　昌彦　教授
中国語（中級）Ⅱ・中国語初歩Ⅱ　（九州産業大学）呉　紅華　教　授
中国語会話Ⅱ・中国語作文Ⅱ　林　教　師

文学部

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹　村　教　授
演習　『東周列国志』演習　竹　村　教　授
講義　唐詩テキスト論　静　永　准教授
演習　千載佳句所収唐詩訳注（20）　静　永　准教授
演習　宋詞選読　林　教　師
演習　中国文学研究法　林教師・静永准教授
演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）西　山　准教授
集中講義　東アジア漢文文化の解放と創造　（名古屋大学）加藤　國安　教授

人文科学府

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹　村　教　授
演習・博士演習　王昭君文学史研究　竹　村　教　授
演習　楚辞研読Ⅰ　静　永　准教授
演習・博士演習　書舶庸譚訓読Ⅱ　静　永　准教授
演習　中国文学研究法　林教師・静永准教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　竹　村　教　授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静　永　准教授

学会・研究室行事

○中国文藝座談会

第二六三回（二〇一二年十二月二十二日）於四階会議室

孫武の生涯とその兵法　岡　駿　介
郭沫若「行路難」と佐賀熊の川温泉　田　中　千　絵
中島敦と漢詩　榎　本　さや香

北宋使遼関係詩考　中村昌彦
陳子龍の擬古詩について　中筋健吉

第二六四回（二〇一三年二月二日）於四階会議室

敦煌変文における伍子胥とその家族　鈴木裕亮
杜甫「秋興八首」の解釈をめぐって　永江健太
馮夢龍『笑府』の分類について　山口綾子
白氏新楽府「七徳舞」考　静永健
日本と中国における『椿姫』の翻訳――同時代東アジアの文脈から見た林訳小説　中里見敬

第二六五回（二〇一三年三月二日）於四階会議室

杜甫「旅夜書懐」創作時期の再検　張宇超
「処州孔子廟碑」にみえる韓愈の道統観　趙二超
台湾国家図書館所蔵『新雕白氏六帖事類添注出経』について　大渕貴之
『白氏長慶集』中「古調詩」与「古体詩」之関係　杜暁勤

第二六六回（二〇一三年四月二十七日）於教育学部一階会議室

開元「五王」と唐代音楽文化　劉潔
明末の出版と小説批評――『封神演義』鍾伯敬評を中心に――　岩崎華奈子
友悌の詠月詩――杜甫から蘇軾へ　原田愛
南宋出版文化と中間層文人――王十朋『会稽三賦』史鋳注を例として――　甲斐雄一

第二六七回（二〇一三年七月二十七日）於四階会議室

陳冷血の翻訳小説『生計』に対する一考察　国蕊
左思「三都賦」と西晋司馬政権　栗山雅央
元稹の家系と彼の十代の詩作について――十六歳の作「代曲江老人百韻」を中心に――　長谷川真史

第二六八回（二〇一三年九月二十一日）於四階会議室

張愛玲と漢奸疑惑――「華麗縁」を中心に――　橋本結花
明代小説における批評と評者――李卓吾評と鍾伯敬評をめぐって――　岩崎華奈子
近世日本における中国琴学の受容について　中尾友香梨
藝術化的「徳運」与「符讖」学説――兼談『拾遺記』整理中的相関問題　林嵩

第二六九回（二〇一三年十一月十七日）

＊特別企画「心をつなぐ目加田誠と漢籍――大野城市所蔵の目加田文庫について――」

於大野城市まどかぴあ・三階大会議室

漢代画像石と語り物文芸　柳川順子
目加田文庫の創設について
（大野城市企画政策部歴史をつなぐ事業推進室）舟山良一
中国文藝座談会（目加田誠主宰）と目加田文庫（漢籍）について　竹村則行
目加田誠先生の思い出　松﨑治之

○第六一回九州中国学会大会発表
（二〇一三年五月十一日～十二日、於琉球大学）
『封神演義』における鍾伯敬評の検討　岩崎　華奈子
唐玄宗兄弟「五王」とその宮廷音楽文化　劉　潔
蘇東坡の詠月詩――兄弟を偲ぶ月　原田　愛

○第十七回宋代文学研究談話会発表
（二〇一三年六月十五日、於早稲田大学）
蘇天爵『国朝文類』初探
――宋末文人の収録状況を中心に――　奥野　新太郎

○第六十五回日本中国学会大会発表
（二〇一三年十月十二日～十三日、於秋田大学）
明末清初刊の小説における「鍾伯敬先生批評」本の再検討　岩崎　華奈子
西晋武帝期における文人の著述活動とその立場
――左思「魏都賦」の分析を中心に――　栗山　雅央

社会連携事業

○目加田誠先生・さくを先生旧蔵書中の漢籍の整理と目録作成
（二〇一二年度、大野城市歴史をつなぐ事業推進室）
○郭沫若と熊の川パネル展（二〇一三年三月一日～三十一日、
佐賀市富士町熊の川温泉・衞（もとり）の湯）
○講演：郭沫若『行路難』と佐賀熊の川温泉　田中　千絵
（二〇一三年三月十六日、同右・衞（もとり）の湯）

研究室刊行物

○『中国文学論集』第四二号（二〇一三年十二月二十五日発行）
永無終點的行役――柳永羈旅詞發微　林　嵩
謝霊運「山居賦」とその自注　東　美緒
隋代文学における劉善経の位置について　張　宇超
開元前期における唐玄宗の俗楽政策――崔令欽の「教坊記序」
を手がかりとして――　劉　潔
蘇集源流考　原田　愛
蘇天爵『国朝文類』について　奥野　新太郎
陳冷血の翻訳小説『生計』に対する一考察　国　蕊
北村透谷と中国の古典詩人――「ゆきだふれ」と「ほたる」
を中心に――　楊　穎
九大フィルハーモニー会と陶晶孫　幸島　光義

人事異動

杜　暁勤　三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了し、
北京大学中文系に帰任。

林　嵩　四月一日、招聘外国人教師として、北京大学中文系より着任。

英語学・英文学研究室

講義題目（平成二十五年度前学期）

英語学

論文指導　西岡教授
英語学講義Ⅰ　英語学概論　西岡教授
英語学演習Ⅰ　英語統語論入門　西岡教授
英語学特論Ⅲ　統語論研究　西岡教授
英語学研究Ⅲ　ミニマリスト統語論研究　西岡教授
博士演習　ミニマリスト統語論研究　西岡教授
英語学演習Ⅶ　English Pedagogical Grammar　ラーソンホール教師
英語学演習Ⅷ　Bilingualism　ラーソンホール教師
英語学特殊研究Ⅲ　Language Acquisition Theories Ⅰ　ラーソンホール教師

イギリス文学

論文指導　鵜飼教授
イギリス文学演習Ⅰ　Mary Shelley研究　鵜飼教授
イギリス文学演習Ⅱ　Oscar Wilde研究　鵜飼教授
イギリス文学特論Ⅴ　George MacDonald研究Ⅳ　鵜飼教授
イギリス文学研究Ⅰ　Virginia Woolf, *The Waves*研究　鵜飼教授
博士演習　Virginia Woolf, *The Waves*研究　鵜飼教授
イギリス文学講義Ⅰ　シェイクスピアとその時代（関西学院大学文学部）　小澤博教授
イギリス文学特論Ⅸ　シェイクスピアとその時代（関西学院大学文学部）　小澤博教授

アメリカ文学

論文指導　高野准教授
アメリカ文学講義Ⅱ　アメリカ文学史（都市と19世紀アメリカ文学）　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅱ　Ernest Hemingwayの短編小説を読む（Part 1: *In Our Time*）　高野准教授
アメリカ文学特論Ⅰ　Jane Tompkins, *Sensational Designs*　高野准教授
アメリカ文学研究Ⅰ　Mark Twainの*Adventures of Huckleberry Finn*を読むⅠ　高野准教授
博士演習　Mark Twainの*Adventures of Huckleberry Finn*を読むⅠ　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅴ　Living American Poetry Ⅰ　ブリューワー教師

アメリカ文化研究Ⅲ　Modern American Poetry Abroad　ブリューワー教師
英作文Ⅰ　English Composition for Undergraduates　ブリューワー教師
英会話Ⅰ　English Conversation II　ラーソンホール教師
英会話Ⅰ　English Conversation-"StoryCorps"　ブリューワー教師

講義題目（平成二十五年度後学期）

英語学

論文指導　西岡教授
英語学講義Ⅵ　統語論研究　（西南学院大学文学部）藤本滋之　教授
英語学特論Ⅶ　統語論研究　（西南学院大学文学部）藤本滋之　教授
英語学演習Ⅸ　Practical Second Language Acquisition　ラーソンホール教師
英語学特殊研究Ⅳ　Language Acquisition Theories II　ラーソンホール教師

イギリス文学

論文指導　鵜飼教授
イギリス文学講義Ⅲ　Emily Brontë論　鵜飼教授
イギリス文学演習Ⅲ　Jonathan Swift研究　鵜飼教授
イギリス文学特論Ⅵ　Virginia Woolf, *Orlando*研究　鵜飼教授
イギリス文学研究Ⅱ　John Bunyan研究　鵜飼教授
博士演習　John Bunyan研究　鵜飼教授
イギリス文学講義Ⅴ　（京都大学文学部）佐々木徹　教授
イギリス文学特論Ⅹ　（京都大学文学部）佐々木徹　教授

アメリカ文学

論文指導　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅲ　Ernest Hemingwayの短編小説を読む（Part 2: *Men Without Women*）　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅺ　Nathaniel HawthorneのThe Scarlet *Letter*を読む　高野准教授
アメリカ文学特論Ⅱ　Annette Kolodny, *The Lay of the Land*　高野准教授
アメリカ文学研究Ⅱ　Mark Twainの*Adventures of Huckleberry Finn*を読むⅡ　高野准教授
博士演習　Mark Twainの*Adventures of Huckleberry Finn*を読むⅡ　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅵ　Living American Poetry II　ブリューワー教師
アメリカ文学演習Ⅸ　Whitman & Dickinson　ブリューワー教師

アメリカ文化研究Ⅳ　Modern American Poetry At Home　ブリューワー教師
英米研究　American Culture Class　ラーソンホール教師
英作文Ⅱ　Composition-"Good Readers, Good Writers"　ブリューワー教師
英会話Ⅱ　English Conversation-"Impact Issues"　ブリューワー教師
英会話Ⅱ　English Conversation II　ラーソンホール教師

学会・研究室行事

日本英文学会九州支部第66回大会研究発表（2013年10月　於　鹿児島国際大学）

英語学

節構造と文法性――動名詞から見えるもの　下仮屋　翔
英語の空所化構文及びストリッピングの認可条件について　高木留美
Transfer とスコープ解釈に関する考察――弱フェイズの観点から　大塚知昇
経験者使役構文について　萱嶋崇
英語副詞節の統語分析と付加詞の島　吉村理一

イギリス文学

マリアン・アールと流れる創造性――バレット・ブラウニング『オーロラ・リー』における詩作と時代性　浜本裕美
母性による支配の城――*To the Lighthouse* における母親の支配と誘引　浅田えり佳
To the Lighthouse における他者理解の可能性　原田洋海
Lilith における「生命の輪」の起点の苦悩　隈部歩
『ロビンソン・クルーソー』における語り手の書記に対する意識――作品構成や流動性に関する考察　才津絢子
The Hobbit　帰還の物語――ドワーフの帰還による伝説世界の回復　渡邊裕子

アメリカ文学

A Mercy における靴のモチーフ　河野世莉奈

英語学

日本言語学会第146回大会（2013年6月　於　茨城大学）

文断片の直接生成分析――トルコ語目的語からの証拠――　永次健人（共同発表）

韓国英語学会国際大会（ELSOK 2013年7月　於　高麗大学）

On Case Licensing of Sentence Fragments　永次健人
On Gapping in English and Japanese　高木留美

A Syntactic Analysis of Extraction out of Sentence-initial Adverbial Clauses in English　吉村理一

5th International Spring Forum of ELSJ
（２０１３年４月　於　東京大学）

On a Weak-Phases Paradox　大塚知昇

日本英語学会第31回大会（２０１３年11月　於　福岡大学）

アイルランド方言の遊離数量詞と弱フェイズに関する考察　大塚知昇

日英語における受動文と使役文の統語分析　萱嶋崇

日本言語学会第147回大会
（２０１３年11月　於　神戸市外国語大学）

抜取りを認可する副詞節の統語分析
——通言語的観点から——　吉村理一

イギリス文学

日本ジェイムズ・ジョイス協会第25回研究大会
（２０１３年６月　於　京都大学）

『ユリシーズ』におけるポルノ的側面とモリーの語りの芸術性　田中恵理

日本イギリス児童文学会第43回研究大会
（２０１３年10月　於　大阪産業創造館）

George MacDonaldの"Light Princess"における水の重要性　田中優子

アメリカ文学

第52回日本ナサニエル・ホーソーン協会九州支部研究会
（２０１３年９月　於　北九州市立大学）

身体的接触から読むThe Spoils of Poynton
——Fledaの語りに抑圧されたホモエロティシズム　斎藤彩世

American Studies Conference
（２０１３年９月　於　東京国際文化会館）

John Hersey's Sensational Text and the Context of the American Society　永川とも子

第52回日本アメリカ文学会
（２０１３年10月　於　明治学院大学）

「食べる女たち——*Paradise*における狩り・食・台所」　吉田希依

九州アメリカ文学会第59回大会
（２０１３年５月　於　長崎県立シーボルト大学）

隠蔽・開示するアイデンティティと共同体への帰属
——クウェンティン・コンプソンの曖昧なセクシュアリティ　吉村幸

『九大英文学』55号（２０１３年３月）

英語学

Fragments within Islands　永次健人

弱フェイズに関する考察――素性継承の拡張――　大塚知昇

A Unified Analysis of Causative and Passives　萱嶋崇

The Factors of Licensing/ Blocking Extraction out of Adverbial Clauses　吉村理一

イギリス文学

生を享受する魂――『ダロウェイ夫人』におけるコミュニケーション――　原田洋海

『船出』における旅の意味の二重性――ヴァージニア・ウルフによる旅行表象――　大谷英理果

From Dark Corinne to Fair Aurora: Barrett Browning and Female Physical Representations　浜本裕美

アメリカ文学

内なる荒野へ――*A Mercy*における自由への飛翔――　吉田希依

書き手としてのニックとディック――『グレート・ギャッツビー』と『夜はやさし』に読むモダニスト作家の苦闘　日下幸織

Invertible Gender in the Postbellum South: The Ambiguous Identity of Quentin Compson in *The Sound and the Fury*　吉村幸

英語学

JELS 30号（２０１３年３月）

Gerunds in Phase Theory　下仮屋翔

On the Asymmetric Behavior of Movements in the Double Object Construction　大塚知昇

A Syntactic Analysis on Gapping and Multiple Sluicing　高木留美

『言語学からの眺望2013』

福岡言語学会編、九州大学出版会（２０１３年12月）

統語派生と素性継承　下仮屋翔

文断片「WH-も」の認可と直接生成分析　永次健人

英語と日本語における空所化について　高木留美

Proceedings of the 2013 International Conference on English Linguistics（２０１３年７月）

On Gapping in English and Japanese　高木留美

イギリス文学

TinkerBell英語圏児童文学研究No.58（２０１３年３月）

Influencing Reconciliation between Men and Women in George MacDonald's "The Day Boy and the Night Girl"　田中優子

アメリカ文学

原爆文学研究 第12号（2013年12月）

『ヒロシマ』というセンセーショナルなテクストと米国の社会的コンテクスト――1945年8月6日～1946年8月31日――　永川　とも子

九州アメリカ文学（2013年10月）

Into the Wilderness Inside Herself: The Journey Toward Freedom in Toni Morrison's *A Mercy*　吉田　希依

人事異動

Marc Lowenstein　三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了し、言語文化研究院に異動。

Jonathan Brewer　四月一日、招聘外国人教師として、着任。

独文学研究室

講義題目

平成二十五年度第一学期

文学部・独語学

作文　Aufsatz　ライヒャルト教師

会話　DEUTSCH 1　ライヒャルト教師

演習　DEUTSCH 2　ライヒャルト教師

臨講　現代ドイツ語の文体特徴・文体慣習　（立教大学）井出万秀　教授

文学部・独文学

講義　ネオ・ヨアキム主義　小黒教授

演習　ヘルタ・ミュラー『心獣』研究　小黒教授

演習　ヴァルター・ベンヤミン「翻訳者の使命」　（西南学院大学）森田團　准教授

臨講　（西洋古典学）古代神話の世界観と近代の受容　（一橋大学）古澤ゆう子教授

人文科学府

演習　Hauptseminar　ライヒャルト教師

演習　黙示録の詩学　小黒教授

特研　Kolloquium　小黒教授

平成二十五年度第二学期

文学部・独語学

会話　DEUTSCH 1　ライヒャルト教師

演習　DEUTSCH 2　ライヒャルト教師

臨講　独語科指導法Ⅰ　（慶應義塾大学）境一三　教授

文学部・独文学

講義　「メールヒェン」論　小黒教授

演習　Proseminar　ライヒャルト教師

演習　ヴィーラント『王子ビリビンカー物語』小　黒　教　授
臨講　ゲーテの『ファウスト』第二部を読む
（東京大学）石原あえか教授

人文科学府

演習　Hauptseminar　ライヒャルト教師
演習　ルードルフ・カスナーのエッセイI　小　黒　教　授
特研　Kolloquium　小　黒　教　授

学会・研究室行事

○『九州ドイツ文学』第26号（平成二十四年十月発行）

・動詞と形容詞の結合価変動と類似性　馬場﨑　聡　美
・新たな試みとしての枠物語――ゲーテ『ドイツ避難民の談話』について――　木　田　綾　子
・「ドイツ家庭文庫」における図書提供システムと「信念のきずな」のかかわりについて　竹　岡　健　一
・近代日本のドイツ美術受容――第一次世界大戦までの間接的受容――　野　村　優　子
・孤独化するディレッタント　ブールジェ、マン、カスナーの場合　小　黒　康　正
・〔翻訳〕ルードルフ・カスナー著『ディレッタンティズム』（小　黒　康　正）
・〔書評〕石川栄作訳『ニーベルンゲンの歌』（前・後編）（嶋　﨑　啓）
・〔書評〕古川昌文・西嶋義憲編『カフカ中期作品論集』（稲　元　萠）
・〔書評〕森田團著『ベンヤミン――媒質の哲学』（尾　張　充　典）

○『西日本ドイツ文学』第24号（平成二十四年十一月発行）

・Friedrich Rückerts *Östliche Rosen* und ‚ihr' Goethe　Sascha Monhoff
・失踪者たちのアメリカ――フランツ・カフカ『失踪者』における自己証明の問題について――　下　薗　り　さ
・〔書評〕小黒康正著『水の女――トポスへの船路――』（大　野　寿　子）

○日本独文学会西日本支部第64回研究発表会

（平成二十四年十二月一―二日　於福岡大学）

・毒虫の戦い――フランツ・カフカ『父への手紙』――　村　上　浩　明
・芸術家から英雄へ――フランツ・カフカ『歌姫ヨゼフィーネ、あるいはねずみの族』――　下　薗　り　さ

○ウーヴェ・ヴィルト教授（ギーセン大学）講演会

（平成二十五年三月十九日　於九州大学文学部）

・Der Dilettantismus-Begriff um 1800 und um 1900 im Spannungsfeld psychologischer und prozeduraler Argumentationen.

○九州大学独文学会第27回研究発表会

（平成二十五年四月二十七日　於九州大学文学部）

・マルティン・ルターの聖書翻訳　――新約聖書における「イエスの死」――　広松　淳

・フランツ・カフカ『巣穴』――創作の原動力としての「敵」――　村上浩明

○第一回星一賞（Hajime-Hoshi-Preis）受賞

（平成二十五年七月二十二日　於ドイツ・ビーレフェルト独日協会）　水守亜季

○日本独文学会秋季研究発表会

（平成二十五年九月二十八―二十九日　於北海道大学）

・書かない主人公――フランツ・カフカの三長編小説における権力関係と「書くこと」　下薗りさ

・高村光太郎の美術批評「緑色の太陽」におけるドイツ語使用をめぐって　野村優子

人事異動

・ザシャ・モンホフ氏が招へい外国人教師を退職

（平成二十五年三月三十一日）

・アンドレ・ライヒャルト氏が招へい外国人教師に着任

（平成二十五年四月一日）

仏文学研究室

講義題目

平成二十五年度前学期

仏語学

演習	フランス語学（仏会話I）	グージョン教師
講義	フランス語学講義I	〃

仏文学

演習	20世紀の小説	吉井教授
演習	20世紀の文学批評	〃
特論	NRF研究	〃
研究	テクスト分析の諸問題	〃
演習	博士演習	〃
演習	リシャール『シャトーブリアンの風景』	髙木准教授

講義　ジャン＝ジャック・ルソー研究　高木　准教授
特論　文学研究の理論と実践　〃
研究　前ロマン主義文学研究　〃
演習　博士演習　〃
特論　プルースト『スワンの恋』　グージョン教師
研究　フランス語小論文　〃
演習　キニャール『めぐり逢う朝』
（言語文化研究院）佐藤　典子　准教授
臨講　フランス語公用語圏ブラックアフリカの文学
（法政大学）元木　淳子　教　授

平成二十五年度後学期

仏語学

演習　フランス語学（仏作文Ⅰ）　グージョン教師
演習　フランス語学演習Ⅰ　〃

仏文学

演習　20世紀の小説　吉井　教　授
演習　20世紀の文学批評　〃
特論　NRF研究　〃
研究　テクスト分析の諸問題　〃
演習　博士演習　〃
演習　テクストの受容と解釈　高木　准教授
演習　ベニシュー「ルソーにおける〈自然〉の観念」　〃
特論　文学研究の理論と実践　高木　准教授
研究　前ロマン主義文学研究　〃
演習　博士演習　〃
特論　生成論研究　グージョン教師
研究　フランス語小論文　〃
演習　キニャール『めぐり逢う朝』
（言語文化研究院）佐藤　典子　准教授
臨講　ネルヴァル『幻視者たち』を読む
（白百合女子大学）辻川　慶子　准教授

学会・研究室行事

仏文学関係

○「ステラ」第31号（平成二十四年十二月発行）

中間構文における任意動作主と未完了アスペクト　井口　容子
刷新と伝統のはざまで――1938年男子コレージュ用フランス語
指導書をめぐって――　飯田　伸二
百閒漫歩――逢魔が時の文学――（その4）　森　茂太郎
Deux préfaces amicales de Marcel Proust
Pierre-Edmond ROBERT
Proust et les avions de Tolstoï : un « pastiche militaire » dans *Le Temps retrouvé*
Francine GOUJON

プルーストと「ゴンクールの日記」　和田章男
「ミス・サクリパン」の帽子――『失われた時を求めて』における文学の素描と絵画の素描――　加藤靖恵
第1次世界大戦後のプルースト受容――『花咲く乙女たちの陰に』とゴンクール賞の余波――　禹朋子
「コンブレー」の生成をめぐる画期的著書――和田章男『プルーストの小説創造』――　中野知律
祈りの文脈――『カトリーヌ・ド・ローアンとフランソワーズ・ド・ディナンの時祷書』――　田辺めぐみ
『ローマの福音書』――アンリ4世治下の宗教論争の一断面――　高橋薫
墓の彼方からの手紙――エッツェル版『パルムの僧院』の編集をめぐって――　髙木信宏
『ボヴァリー夫人』におけるフェリシテ像の成立　大橋絵理
ゾラとボードレール――ゾラの文学批評におけるボードレール評価について――　吉田典子
ある戦争捕虜の肖像――ジャック・リヴィエールと第1次世界大戦――　小黒昌文
没後50年と生誕100年に際して――セリーヌとリュセット未亡人――　木下樹親
「デラシネ論争」「ポプラ論争」の余白に――ジッドとルイ・ルアールの往復書簡――　吉井亮雄

人事異動

○安藤智子　三月三十一日、助教を退職、四月一日、人文科学研究院専門研究員に着任。

言語学研究室

講義題目

文学部

平成二十五年度前期

概論　ことばの規則性　久保智之
演習　音声学の基礎　久保智之
演習　論文の読み方・書き方　上山あゆみ
講義　方言のフィールド調査法～琉球方言を例に～　下地理則
実習　卒業論文指導　各教員

講義（集中）「こころ」を探る言語獲得研究　（三重大学）杉崎鉱司
講義（集中）音響音声学入門　（広島大学）五十嵐陽介

平成二十五年度後期

演習　文理解研究の理論と実践　坂本勉
講義　音声学実習　久保智之
講義　日本語の基本構造　上山あゆみ
演習　方言のフィールド調査法～琉球方言を例に～　下地理則
実習　卒業論文指導　各教員
講義（集中）言語類型論・記述言語学　（東京外国語大学）風間伸次郎

人文科学府

平成二十五年度前期

研究　言語研究における基礎的データⅠ　坂本勉
特論　満洲語講読（康熙朝奏摺）　久保智之
研究　Phonetics and Phonology of Japanese　Tomoyuki KUBO
特論　構造と意味　上山あゆみ
研究　統語理論演習　上山あゆみ
特論　琉球語をフィールドワークする　下地理則
研究　The Ryukyuan languages: an introduction　下地理則
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
博士演習　各教員
特論（集中）「こころ」を探る言語獲得研究　（三重大学）杉崎鉱司
特論（集中）音響音声学入門　（広島大学）五十嵐陽介

平成二十五年度後期

研究　言語研究における基礎的データⅡ　坂本勉
特論　満洲語講読（康熙朝奏摺）　久保智之
研究　音韻論の諸問題　久保智之
特論　言語理論と観察の一般化　上山あゆみ
研究　統語理論演習　上山あゆみ
特論　簡易辞書の作成　下地理則
研究　言語類型論　下地理則
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
博士演習　各教員
特論（集中）言語類型論・記述言語学　（東京外国語大学）風間伸次郎

学会・研究室行事

九州大学言語学研究会

第八十五回（二〇一三年七月二十日　於九州大学文学部会議室）
「シンブー諸語のトーン」　（熊本大学）千　田　俊太郎

第八十六回（二〇一三年八月二日　於九州大学文学部会議室）
「南琉球宮古語池間方言の三型アクセント体系」
（広島大学）五十嵐　陽　介

第八十七回
（二〇一三年九月二十日　於九州大学文学部会議室）
"Innate Constraints on Syntactic Variation: The View from Child English"　（三重大学）杉　崎　鉱　司

第八十八回（二〇一四年一月九日　於九州大学文学部会議室）
「ツングース諸語の歴史
——特に満洲語の位置づけをめぐって——」
（東京外国語大学）風　間　伸次郎